



明桜レター



かなう夢とかなわぬ夢

教頭心得 興石 重弘

今年も残り少なくなってきました。皆さんは、この一年を振り返ってどうだったでしょうか？目標や夢は、かないましたか？

誰もが自分の夢をかなえたいという気持ちがあります。それはささやかな夢であったり、大きな夢であったり、人それぞれでしょう。しかし、多くの人はおそらく「夢はかなわないもの」と思っているのではないのでしょうか。実際、かなう夢より圧倒的にかなわない夢のほうが多いというのが現実です。その反面、夢を実現させている人たちがいることも事実です。ならば、かなう夢とかなわぬ夢の違い、夢をかなえる人と、夢がかなわない人との違いは一体、何なのでしょう。このことについて、私は以前、あるメンタルトレーナーの「夢のかなえ方」という講演を聞いたことがあります。今回、その話を少し紹介したいと思います。

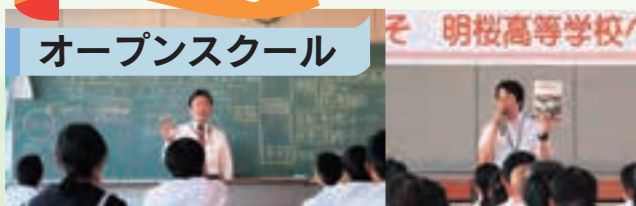
「私にはこういう夢があります」「ああいったことを実現したい」と夢を語る人は多いのですが、皆が夢をかなえる訳ではないのです。なぜ、かなわないのでしょうか？それは人の役に立たない夢、誰からも感謝されない夢だからです。かなえることで自分以外の誰かに役立つもの、人から「ありがとう」と感謝されるものが夢と呼ばれるのではないのでしょうか？自分勝手な目標や欲望は夢などとは言いません。自分の事しか考えずに、「こうなりたい、ああなりたい」というのは、単なる願望というか、野心です。そんな独りよがりの夢なんて、うまくいく訳がありません。たとえ一時うまくいくことがあっても、途中で必ずダメになる。なぜなら、その夢、自分は嬉しいかもしれないけれど、誰も「ありがとう」と言ってくれることはないからです。そして、大きい夢になればなるほど、「ありがとう」と大勢から言われなかったら、かなうはずがないのです。自分だけの身勝手な願い事や夢などは誰も望まないし、協力しようと思いません。自分だけじゃなく、人が喜ぶ夢のほうが断然、かないやすい。しかも、喜ぶ人が多ければ多いほどに……。

皆さんも誰かに「ありがとう」と言われる大きな夢を持ってみませんか。

A dream you dream alone is only a dream. A dream you dream together is reality.
「ひとりで見える夢は夢しかない。みんなで共に見る夢は現実。」
引用：オノヨーコ イマジンより

学校行事

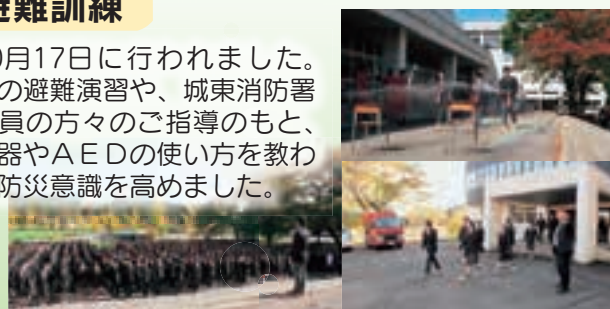
オープンスクール



9月26日に本校で開催されました。模擬授業を受ける姿や部活動体験をする中学生の姿が多く見られました。

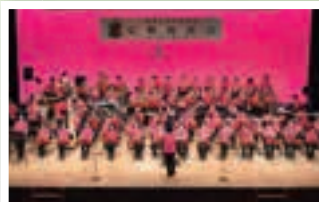
避難訓練

10月17日に行われました。生徒の避難演習や、城東消防署の職員の方々のご指導のもと、消火器やAEDの使い方を教わり、防災意識を高めました。



吹奏楽部定期演奏会

10月14日に、明桜高校吹奏楽部第28回定期演奏会が文化会館大ホールで行われました。ゲストに、藤陵雅裕さんをお招きし、1000人を超えるお客様に見守られながら、盛会の内に無事演奏会を終えることができました。



令和最初の明桜祭開催

千花繚乱～咲き誇れ1000人の想い～



令和元年10月18日(金)～19日(土)に明桜祭が開催されました。1年生は、現在、身の回りにおいて懸念されている問題点に対してこれからどうすべきであるかということをもとめ、展示しました。また、フリーマーケットも開催しました。2年生は修学旅行の行先である台湾についての事前研究の展示と飲食店の出店をしました。3年生は入念に練習を重ねた合唱の発表と飲食店の出店を行いました。そして、今年は例年と違い、竿灯妙技の発表があったりと、盛り沢山の内容でした。雨の降りしきる中、多くの皆さまにご来校いただき、本当にありがとうございました。



合唱コンクールを 終えて

3J 佐々木 康

我々三年J組は、今回の合唱コンクールで最優秀賞という名誉ある賞を受賞しました。このような賞をとれたのも、クラス一丸となり、練習時間を十二分に生かすことができたおかげだと私は思います。

合唱を行うにあたって、私達のクラスには二つのハンデがありました。それは、人数が少ないということ、ピアノを弾ける人がいないということです。短い練習時間でクラスの合唱を完成させるために、私達はより効率的で効果的な方法で練習を行いました。幸いにもクラスに合唱経験者があり、練習を仕切ってもらい、アドバイスをもらうことでより効果ある練習ができました。

また、ソロパートを増やすことで伴奏者の負担が減るよう配慮しました。本番では自分達の練習成果を発揮し、良い合唱にすることができました。

今回の合唱コンクールでは最高の結果を残すことができました。残りの高校生活を有意義なものにするよう頑張りたいです。



明桜祭を終えて

2A 辻 菜々

明桜祭を終えて楽しい二日間を過ごせたと思います。一日目で一番心に残っているのは合唱コンクールです。登校中に何度か練習が聞こえてきて楽しみにしていました。本番どのクラスも素敵で練習の努力を感じました。特に部活の先輩と研究の先輩の指揮や歌う姿がかっこよく私も来年そんな風になりたいと思います。二日目は初めての出店でポップコーンを販売しました。数日前から放課後に残り、看板作りや調理の練習をし、大変でしたが当日たくさんのお客さんが来てくれて嬉しかったです。しかし、店番が忙しく他のクラスの出店やステージ発表が見れなかったのが来年は校内を周り今年以上に楽しみたいです。

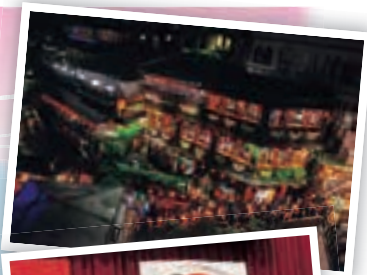
明桜祭を体験して

1H 伊勢谷駿介

僕が明桜祭を体験して、一番印象に残っているのはクラスのみんなとフリマをやったことです。まず、クラスで出品する商品を集めました。僕は荷を持っていいかげんのか、さっぱりわかりませんでした。とりあえず、部屋にあったぬいぐるみと筆箱を持っていきました。初めてフリマをやるので、成功するかどうか心配でとても不安でした。しかし、明桜祭当日は、予想していた以上に人が集まり、たくさんの商品が売れました。フリマ以外でも友達と色々なお店を回ることができて楽しかったです。僕にとって、初めての明桜祭は成功でした。

修学旅行 in台湾

11月2日～5日（第1隊）、9日～12日（第2隊）、16日～19日（第3隊）に分かれて、台湾への修学旅行に行ってきました。淡水商工高校の生徒や鶯歌高校の生徒達と交流をしたり、買い物をしたりしてたくさんの思い出を作ってきたようです。



修学旅行を通して 学んだこと

文理コース 赤川仁一朗



十一月九日から三泊四日で訪れた台湾での修学旅行では、得るものが多かった。

行く前は、海外の修学旅行ということ、言葉や食べ物など不安の気持ちがあったが実際にしてみるとそれは杞憂にすぎなかった。

食事は、小籠包はもちろん抜群のおいしさだったし、散策中に食べたかき氷もボリュームがあつてとてもおいしかった。

行く前に一番不安だったのは、淡水商工生との交流だった。言葉が通じないのにペアで淡水老街で散策なんてどうしようと思っていた。しかし、身振り手振りでなんとなくコミュニケーションがとれ、結果交流を楽しむことができ、よい思い出になった。

何事も積極的に挑戦することで、自分の世界が広がっていくということを実感することができた修学旅行だった。

修学旅行を終えて

総合研究コース 木川 奈菜



この四日間、秋田と台湾の文化の違いや、大人数で行動する上で互いを思いやる気持ちが大切だということを感じました。

まず私は食べ物に一番違いを感じました。見た目や味が日本に比べて独特でした。他国の文化を肌で感じる機会はめったにないのでとても貴重な時間を過ごしました。そして言葉も異なる中、「どう表現すれば伝わりやすいか。」を考え行動し、相手のことを深く考えることができたと思います。

いつもは一日中関わることがあまりない仲間と修学旅行を通して、さまざまな一面に気づくことができました。また、団体行動をしなければいけないので時間を守ることはもちろんのこと、お互いを思い合い協力し無事に終えることができました。この経験を忘れず今後の生活にも生かしていきたいです。

修学旅行を振り返って

特進βコース 金子 慧世



私は第三隊として台湾に修学旅行に行ってきた。初めて海外に行くということで行く前はとても不安で緊張していました。しかし、いざ行ってみると楽しいことがたくさんあって、その感覚も消えていきました。特に印象深く心に残っているのは、鶯歌高校の生徒たちとの交流です。最初に陶芸体験をし、パートナーと共に昼食を食べました。日頃から学習している「英語」を使う機会がやってくると思いが止まっていたが、対面して会話をしようとすると思いが止まっていた。うまく話せませんでした。しかし、生徒はとも日本語が上手で、そして日本が大好きであつたから、結局日本語で話してしまいました。この旅行で学んだことは、海外の人との交流はとても楽しく、自分の世界を広げる材料となるということです。この旅行は忘れられない大切な思い出になりました。

楽しかった修学旅行

特進αコース 八戸優里奈



四日間の台湾修学旅行を終えて、たくさんの経験を得ることができたと思います。一日目は、ほとんど飛行機やバスでの移動時間でしたが、台北一〇一に行くまでの道には高層ビルや車、観覧車のネオンがとても綺麗で、現地の人達にとってはありふれた景色の一つなのかもしれません。私達にとってはもの凄く惚れ惚れする光景でした。また、台北は日本という東京だとガイドさんが説明してくれました。そのこともあってか、台北一〇一から見た夜景は私達の住んでいる秋田からしたら、まぶしく輝いていました。そして、一番楽しかった淡水商工の生徒との交流では、全て英語でしたが、優しく話しかけてくれて自信に繋がりました。また、日本より自由な授業でしたが、その分責任や人間性が問われるもので、そんな活動を平日頃から行っているからこそ、内面が綺麗に磨かれ、人に優しくなれると気づかれました。私も台湾の人達を見習って、心を豊かにしていきたいです。

明桜男子サッカー部

全県新人大会優勝!!

十一月二日から四日に、TDK秋田総合スポーツセンター、西目カントリーパークを会場として秋田県高校新人サッカー大会が開催されました。この大会で本校男子サッカー部は二十年前に優勝することができました。ご支援、ご協力、誠にありがとうございました。

大会成績

一回戦	明桜高校	3-0	男鹿工業高校
二回戦	明桜高校	2-1	秋田西高校
準決勝	明桜高校	2-0	新屋高校
決勝	明桜高校	0-0	秋田商業高校 (PK 3-2)

想いをつなぐ



明桜高校男子サッカー部
監督 原 美彦

この度は、秋田県高等学校新人サッカー大会に際し、応援ありがとうございました。一週間前に行われた全国高校サッカー選手権大会秋田県大会では、優勝した秋田商業高校に1-2と準決勝で敗れ、先輩たちが成し遂げられなかった「優勝」という想いを引き継ぐ形で、試合の翌日から新チームとして始動しました。優勝するまでの道程は決して簡単なものではありませんでした。新チームにとって初めての公式戦となった一回戦の男鹿工業高校との試合で3-0勝利しましたが、翌日の二回戦では秋田西高校に、大会を通して唯一の失点となる先制点を奪われました。しかし、その後は積極的に攻め続ける中で得たセットプレーから2得点を奪い2-1で逆転勝利を収めることができました。大会最終日、準決勝の新屋高校との試合では攻守に躍動し2-0で勝利し、2年振りの決勝進出を果たしました。決勝では一週間前の試合で敗れた秋田商業高校との対戦となり、自ずと選手たちのモチベーションは上がりました。連戦で肉体的な疲労もありました

が、選手たちはひたむきにボールを追いかけ、情熱的に、闘争心を前面に出してプレーする姿勢を示してくれました。前後半、延長でも決着がつかず、PK戦にまでもつれる緊迫したゲーム展開でした。PK戦では2年生GKの佐藤潤一が相手のキックを3本止めて勝利に貢献し、20年振りの優勝と同時に、明桜高校として初めての優勝を果たすことができました。一言で「優勝」と言葉で言うのは簡単なことかもしれませんが、しかし、成し遂げるためには、選手一人ひとりが自身身を律し、チームの為に何をすべきなのかということを考えなければなりません。明桜高校の校是は「努力は人を作る」「情熱と闘志で最善を尽くす」とあります。2018年主将の吉田銀河、2019年主将の荒井爽が、この想いをつなぎ、明桜高校男子サッカー部の基礎になる部分を作り上げてくれました。我々の目標はこれで終わりではありません。高校総体、選手権大会優勝という目標を達成するためには、現状に満足することなく、つねに謙虚に、周囲に感謝しながら努力をし続けなければなりません。さらなるレベルアップを目指し、日々精進していきたく思います。理事長先生をはじめ学校の先生方、保護者の皆さま、全校生徒のみなさん、熱い応援をいただき心より御礼を申し上げます。これからもご声援のほどよろしくお願い申し上げます。



新人戦を優勝して



明桜高校男子サッカー部
主将 鎌田 太耀

私たち明桜高校男子サッカー部は、十一月二日～四日に行われた秋田県高校新人サッカー大会で二十年前に優勝することができました。明桜高校に校名が変更されて初めての優勝となりました。初戦から新チームとしての堅さがありましたが、初戦の男鹿工業高校に三対〇で勝ち、続く二回戦の秋田西高校戦は二対一で逆転勝利することができました。続く準決勝、決勝は一日で二試合を行うタフな日程となりました。準決勝は中央支部新人大会で敗戦した新屋高校に二対〇で勝利することができました。同日午後に行われた決勝では、選手権大会で敗戦した秋田商業に「リベンジをする」という強い気持ちを持って戦いました。互いに譲らない試合は前後半の七十分、二十分の延長でも勝敗がつかみませんでした。そして、PK戦でGK佐藤が相手のPKを三本止め、三対二で勝利し、優勝することができました。足を止めず闘い切り、素晴らしい景色を見ることができました。また、メンバーに入らなかった部員による決勝での応援はとも力となり、チーム全員で「勝ちたい」「優勝したい」という強い気持ちがまとまり、勝ち取ることができたと思います。これからは追われる立場となりますが、満足することなく、全国大会を目指して日々精進していきたく思います。応援ありがとうございました。

